

廃棄物・環境セミナーウィーク2016 in 関西

環境専門ジャーナルを発行する日報ビジネス(株)では、10月、大阪にて廃棄物ビジネスに関するセミナーを開催します。企画テーマはA廃棄物処理法改正、B食品リサイクル、C人材育成・労務、D遺品整理・不用品回収、E処理困難物、F新規廃棄物ビジネス、G木質バイオマス発電の合計7本。木質バイオマス発電所現地視察会も予定しています。

日時 2016年 **10月17日(月)、18日(火)、19日(水)**

【午前の部：A、C、D、F】10:00～12:45

【午後の部：B、E、G】13:30～16:15

(※いずれも20分前から受付)

主催 日報ビジネス(株)

(週刊「経済新聞」、月刊「廃棄物」、隔月刊「イ・コンテクチャー」、産廃NEXT、隔月刊「地球温暖化」発行)

会場 大阪産業創造館 5階 研修室(大阪市中央区本町1-4-5)

定員 各70名(※Cセミナーのみ30名。定員になり次第締め切り)

聴講料 お一人1セミナー **10,000円** (資料代・税込、移動式セミナーは別途価格)

- 9月30日(金)までの早期申込なら1セミナー8,000円になります
- お一人で2セミナー以上の複数申込、あるいは1社から2名以上の複数申込の場合は、10月7日(金)までの事前申込の期間中、1セミナーにつき8,000円になります(ただし同時申込に限る)

A

10:00
～12:45

徹底解説！廃棄物処理法の改正テーマ～違反事例から学ぶ～

2010年の廃棄物処理法改正から5年が経過し、今年度は見直し議論が進められています。廃棄物管理・処理に関する問題が多様化する中、処理業者・排出事業者にとって、今こそ必要な廃棄物処理法の基礎知識と次回改正のテーマ、実際の現場で発生する間違えやすいポイントを徹底解説。最近の違反事例から具体的なリスク管理の方法を学びます。



講演者：行政書士エース環境法務事務所
代表 尾上 雅典氏

(1995年兵庫県庁入庁。2001年から地方機関にて産業廃棄物の規制指導を担当した。2005年に退職後、行政書士事務所を開業。廃棄物処理企業に特化し、許認可申請代行から企業の経営基盤確立をめざした従業員育成、事業継承のアドバイス、法務相談など、幅広い分野で活躍している。主な著書に「ぜ～んぶわかる廃棄物処理実務」「知らなきゃ怖い廃棄物処理法の罰則」「廃棄物処理法と産廃管理マニュアル」など)

- 「廃棄物処理法はここを押さえよう！ 実務に役立つポイント解説」
- 「違反事例から学ぶマニフェスト管理」
- 「今後どう変わる？ 法改正のポイント・テーマを解説」
- 「これが聞きたい！ 質疑応答コーナー」

B

13:30
～16:15

食品リサイクルビジネス最前線～注目のバイオガス化と飼肥料化成功ノウハウ～

昨年の一部法改正で再生利用等実施率の目標値が引き上げられるなど、ますますニーズが高まっている食品リサイクル。一方で、原料の性状が幅広く出先確保も難しいため、ビジネスノウハウが不可欠な分野でもあります。今注目のバイオガス化から飼肥料化まで、現場の最前線で活躍する講師が事業ポイントを解説。食り成功のヒントを探ります！



■最新研究報告「メタン発酵消化液の農業利用への可能性と先進事例」(仮)
京都大学大学院農学研究科農業システム工学分野
助教 大土井 克明氏



■「バイオガス発電事業のポイント～必須知識から最新実例報告まで～」(仮)
(株)リナジェン 代表取締役社長 三嶋 大介氏



■「飼肥料化を成功させるための事業ノウハウと今後の動向」(仮)
(有)環境テクシス 代表取締役社長 高橋 慶氏



■「安定・継続できる堆肥化ビジネス～信頼性確保へ見える化を推進～」(仮)
(有)三功 代表取締役社長 片野 宣之氏

F10:00
~12:45**産廃NEXT提供 廃棄物ビジネスの新規事業の発見!**

産廃NEXT 連載中の富山県立大学の立田先生をコーディネーターに迎え、人工知能(AI)を使った選別ラインを日本で初めて導入した事業者や、国内初「トンネルコンポスト」方式採用の可燃ごみの再資源化、未来志向の経営統合など最先端事例を紹介しします。生き残りをかけた廃棄物ビジネスの次世代ポイントを最新事例の中から見つけ出します。



■基調講演「廃棄物ビジネスの新規事業の発見」
コーディネーター 立田 真文氏(富山県立大学准教授)

■最新リサイクル・中間処理事業者(依頼中)



■「人工知能を使った選別」
(株)シタラ興産 代表取締役 設楽 竜也氏

■最新リサイクル・中間処理事業者(依頼中)

■質疑とディスカッション

10月19日(水)

G13:30
~16:15**注目される木質バイオマス発電 ~最新事例と燃料確保~**

FIT 施行以降、木質バイオマス発電所の計画数は全国で約 100 カ所に上り、すでに 40 カ所以上で大型の発電所が運転を開始しました。PKS 利用といった燃料の多様化や小規模施設・熱電併給設備などバイオマス利用に選択肢が増えてきています。産廃業界からも注目が集まる同分野の最新動向から事業性、課題解決のヒントとなる事例等を紹介しします。



■基調講演
「木質バイオマス発電動向と今後の展望」(仮)
(株)バイオマスアグリゲーション 代表取締役 久木 裕氏

■「竹の可能性を創造する
バンブーフロンティア構想」(仮)
バンブーフロンティア(株) 代表取締役 山田 浩之氏



■「グリーン発電大分による
地産地消型の未利用材専焼発電」(仮)
(株)グリーン発電大分 代表取締役 森山 和浩氏

お知らせ**現地視察会****木質バイオマス発電所移動式セミナー**

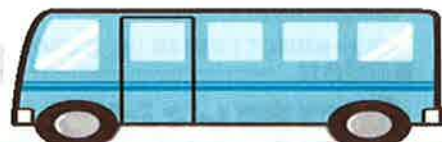
FIT 施行以降、木質バイオマス発電所が全国的に建設されており、山林未利用材を中心とした木質燃料の需要が大幅に高まり、現在も伸び続けています。そこで今回森林資源の有効活用や森林整備、新規雇用で期待が寄せられる同事業を先行的に取り組み、奈良県初となる FIT に基づく木質バイオマス発電事業を実現する株式会社クリーンエナジー奈良を視察する移動式セミナーを企画致しました。同社が運営する「吉野発電所」や、燃料供給等を担う関連会社の総合リサイクル企業「I・T・O」の燃料製造施設「吉野工場」を見学致します。

10月20日(木) 9:00~17:30 【定員】22名(定員になり次第締め切り)



【視察】 株式会社クリーンエナジー奈良
所在地 奈良県吉野郡大淀町大字馬佐 391 番 18
事業内容 木質バイオマス発電事業

詳細は
お問い合わせください!!



※セミナータイトルや講演内容は9月1日現在の予定です。変更になる場合があります。